

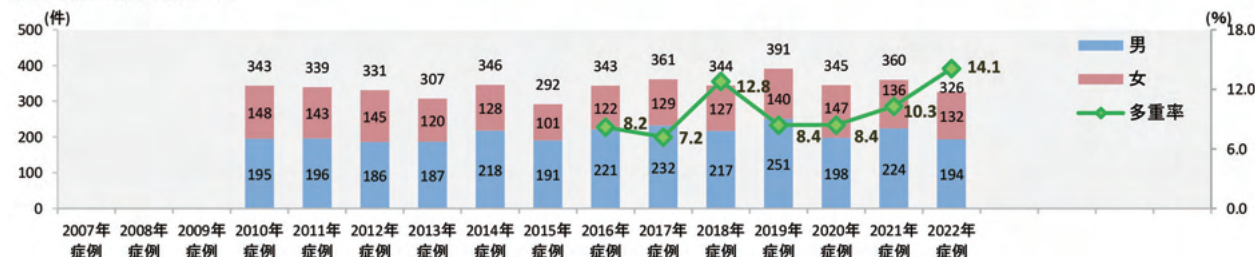
熊本県院内がん登録データに係る統計 —2022年診断症例—

医療機関名				国保 水俣市立総合医療センター	
○基本情報					【令和4(2022)年12月現在】
所在地	水俣市天神町1丁目2番1号				
病床数	361床(一般357床;感染症4床)				
追加情報	HCU10床;地域包括ケア病棟50床;回復期リハ病棟50床				
診療科数	19科				
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17	がん登録開始基準日	2010.01.01		
平均在院日数	16.7(日)				
入院患者数	4,413(人)				
外来患者延数	162,925(人)				
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○		
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし		
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド)	※ 調査方法は施設によって異なるため 参考程度に捉えること			1,170(件)	
院内がん登録件数	326(件)				
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0(名)				

○医療機関からのコメント

＜登録件数＞ 全体で326件であり、前年の360件と比べて減少していた。
 ＜患者住所医療圏＞ 主な医療圏は担当である芦北(水俣・津奈木・芦北)の229件(70.2%)で、県外である鹿児島県から来院する患者が95件(29.8%)あった(前年125件)。これまで県外からの来院は3割以上を占めていたが、2022年は県外からの患者数が約30件減少しており、登録件数の減少にも影響しているものと考えられる。
 ＜平均年齢 男女比＞ 登録症例の全体の平均年齢は75.1歳で前年よりも高く、依然として登録症例の高齢化は継続している。男女比は男性194件(59.5%)、女性132件(40.5%)であり、例年通りの割合であった。
 ＜部位別登録件数＞ 5大癌は肺癌57件(17.5%)、大腸癌45件(13.8%)、乳癌35件(10.7%)、胃癌28件(8.6%)、肝癌7件(2.1%)であり、肺癌は大きく減少したが(前年77件)、その他の癌腫は例年通りの件数であった。
 ＜5大癌の発見経緯＞ 他疾患観察中が半分を占めており(154件 47.2%)、例年と変わらなかったが、がん検診が契機の件数は27件(8.3%)であり前年(45件 12.5%)より減少していた。また有症状による受診が契機の件数が139件(42.6%)であり前年同様やや増加傾向であった。
 ＜Stageと治療内容＞ 全体のStage別の割合は0期は8.0%、Ⅰ期は37.7%、Ⅱ-Ⅲ期は28.2%、Ⅳ期は19.3%と例年通りの割合であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術+内視鏡による治療が137件(42.0%)であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は116件(35.6%)であり、主に肺癌、前立腺癌、膵癌、大腸癌、乳癌が占めていた。
 ＜特徴＞ 全体の登録件数が減少しており、減少数のほとんどが県外出身の登録であった。また芦北水俣医療圏の人口減少もあるかと考えられる。癌の発見経緯は検診では減り、有症状時の受診の割合が増えている傾向は、前年同様であった。
 当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが多い。また当院をかかりつけとする患者や併存疾患を有する高齢のがん患者が多い状況である。地域に根付いた総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、多職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
 さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

診断年別登録件数(参考)

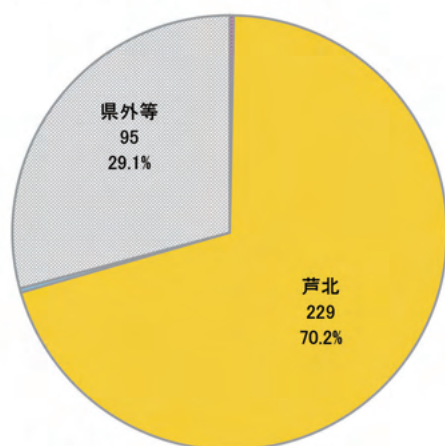


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

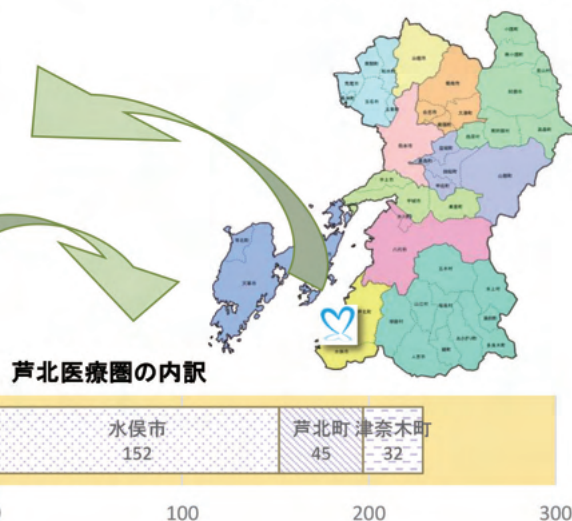
① 患者住所医療圏別登録の状況(2022年診断症例)

水俣市立総合医療センター (326件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



※ 八代、天草は1~3件

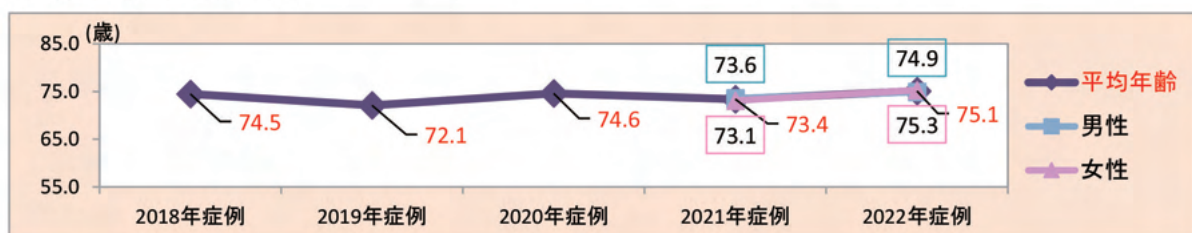


◇ 医療圏別上位5部位

熊・上 (熊本)	有明	阿蘇	球磨
熊・上 (上益城)	鹿本	八代	天草
宇城	菊池	芦北	県外等
		大腸	肺
		肺	皮膚
		乳房	大腸
		胃	該当部位
		その他	

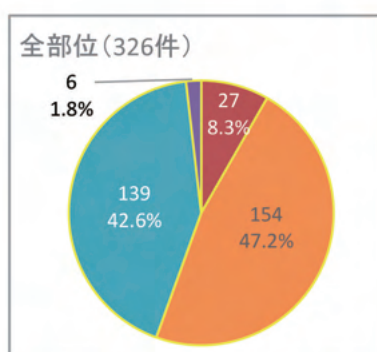
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

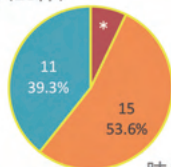


③ 発見経緯 5大部位の内訳

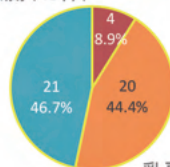
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



胃(28件)



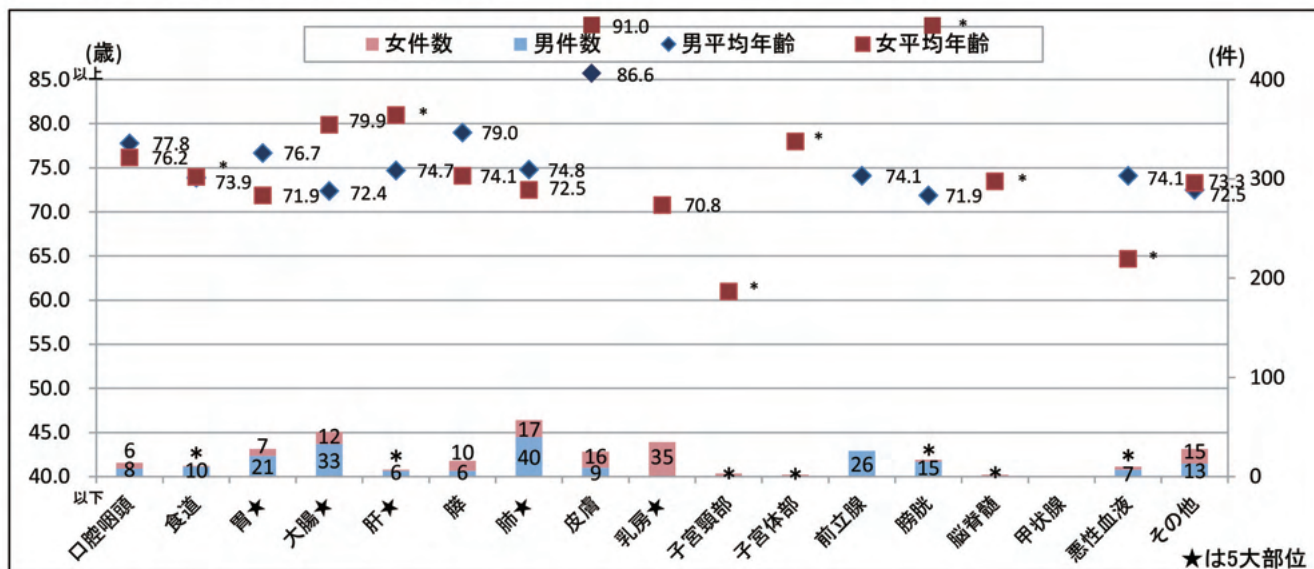
大腸(45件)



肝(7件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

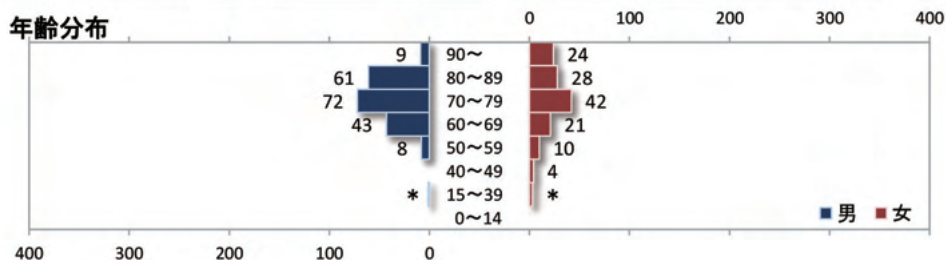


男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
肺	40	該当部位	*	該当部位
大腸	33			各*
前立腺	26			
胃	21			
膀胱	15			
その他	13			
食道	10	計	*	計
皮膚	9			8
口腔咽頭	8	60～69歳	70～79歳	80～89歳
悪性血液	7	大腸	15	肺
肝	6	前立腺	8	皮膚
膵	6	肺	15	胃
乳房	4	前立腺	11	該当部位
子宮頸部	該当部位	膀胱	7	各*
子宮体部	各*	胃	6	
脳脊髄	計	その他	7	
甲状腺	43	など	7	
計	194	計	72	計



女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
乳房	35	該当部位	各*	乳房
肺	17			該当部位
皮膚	16			各*
その他	15			
大腸	12			
膵	10	計	*	計
胃	7			4
口腔咽頭	6	60～69歳	70～79歳	80～89歳
子宮頸部	*	乳房	9	皮膚
悪性血液	*	大腸	7	12
子宮体部	*	肺	6	大腸
膀胱	*	膵	5	該当部位
脳脊髄	*	その他	5	各*
食道	*	該当部位	各*	
肝	*	計	42	計
前立腺				24
甲状腺				
計	132			

年齢分布



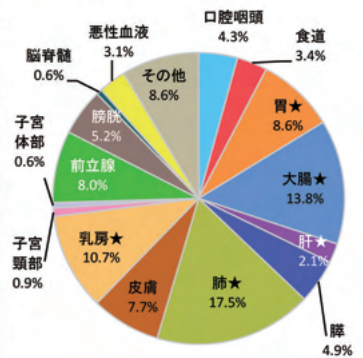
Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2018年症例 (R01年度収集)	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)
口腔咽頭	7	15	17	10	14
食道	5	7	9	6	11
胃★	29	31	26	21	28
大腸★	43	55	64	51	45
肝★	14	17	16	11	7
膵	15	22	16	8	16
肺★	43	71	49	77	57
皮膚	41	36	19	39	25
乳房★	22	35	29	32	35
子宮頸部	6	*	7	6	*
子宮体部	(頸部・体部)	4	*	6	*
前立腺	40	49	31	34	26
膀胱	26	22	20	19	17
脳脊髄	*	*	7	7	*
甲状腺		*			
悪性血液疾患	8	*	4	4	10
その他	42	20	28	29	28
計	344	391	345	360	326

2022年診断症例 主要部位別割合



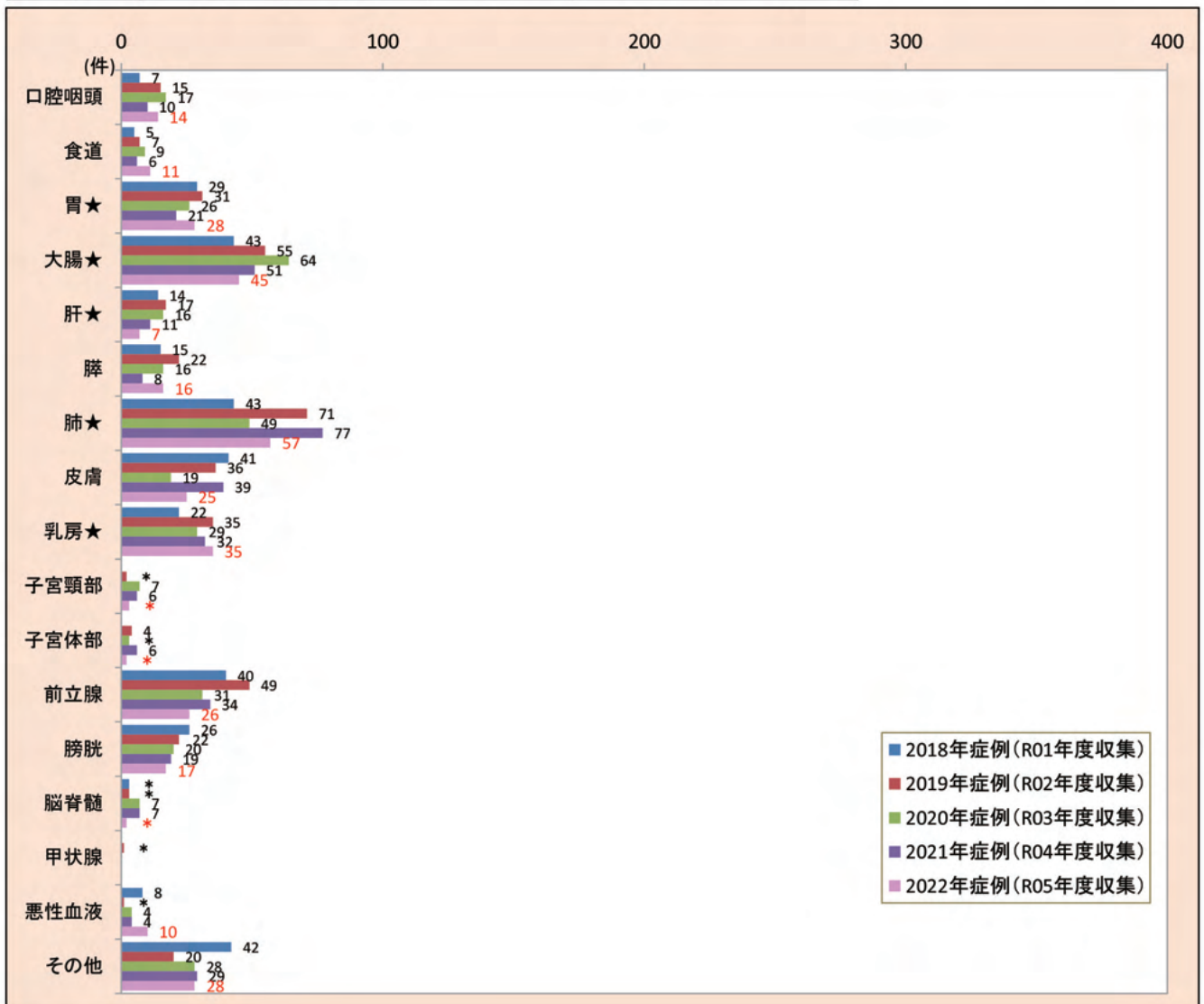
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

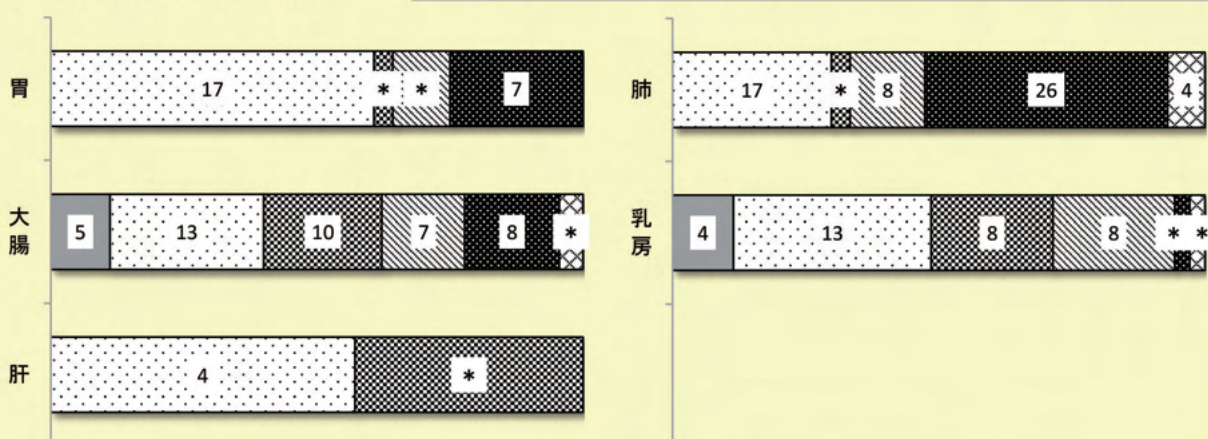
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



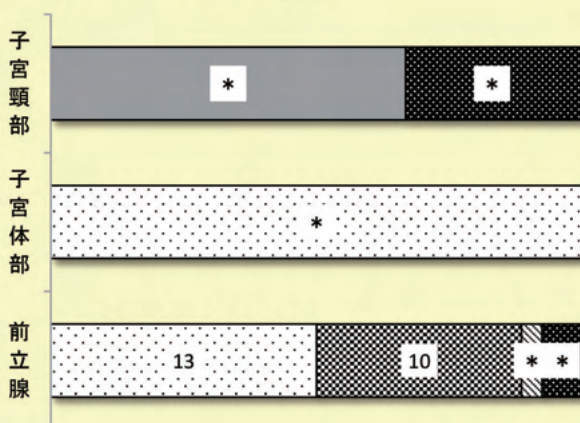
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	14	*	4	4		4	
食道	11	*	6		*	*	
胃★	28		17	*	*	7	
大腸★	45	5	13	10	7	8	*
肝★	7		4	*			
膵	16		4	*	*	5	*
肺★	57		17	*	8	26	4
皮膚	25	*	18	*	*		*
乳房★	35	4	13	8	8	*	*
子宮頸部	*	*				*	
子宮体部	*		*				
前立腺	26		13	10	*	*	
膀胱	17	9	*	*	*	*	*
脳脊髄	*						*
甲状腺	0						
悪性血液疾患	10		*			*	5
その他	28		9	7	*	4	5
計	326	26	123	54	38	63	22

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

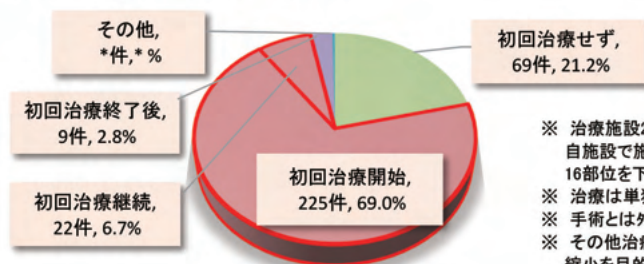
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	69
2初回治療開始	225
3初回治療継続	22
4初回治療終了後	9
8その他	*
計	326



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

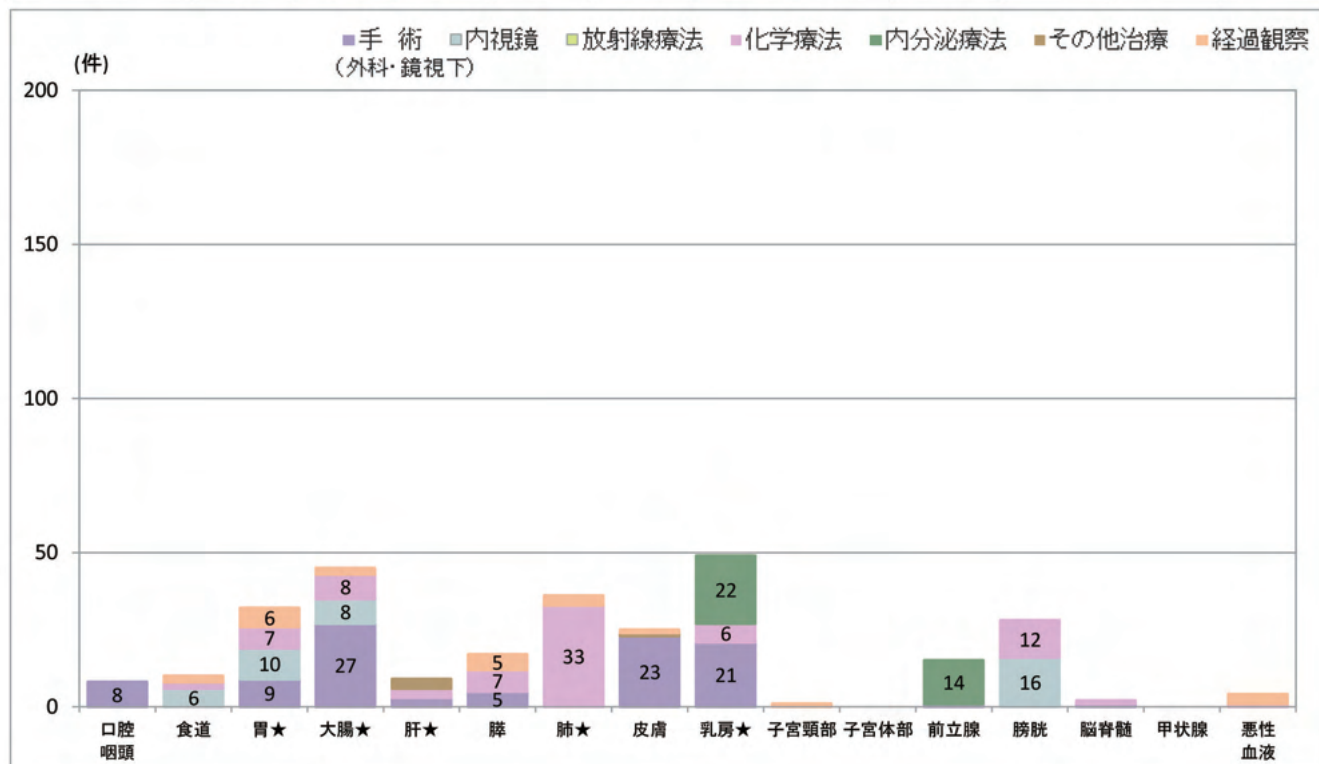
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣残転移のみ切除など)	不明
口腔咽頭	8							8	100.0%	0.0%	0.0%
食道		6		*			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	9	10		7			6	32	84.2%	15.8%	0.0%
大腸★	27	8		8			*	45	93.9%	6.1%	0.0%
肝★	*			*		*		9	100.0%	0.0%	0.0%
膵	5			7			5	17	100.0%	0.0%	0.0%
肺★				33			*	36			
皮膚	23					*	*	25	87.0%	13.0%	0.0%
乳房★	21			6	22			49	95.2%	4.8%	0.0%
子宮頸部							*	*			
子宮体部								0			
前立腺	*				14			15	0.0%	100.0%	0.0%
膀胱		16		12				28	50.0%	50.0%	0.0%
脳脊髄	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患				*			*	4			
計	98	40	0	80	36	4	23	281			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計

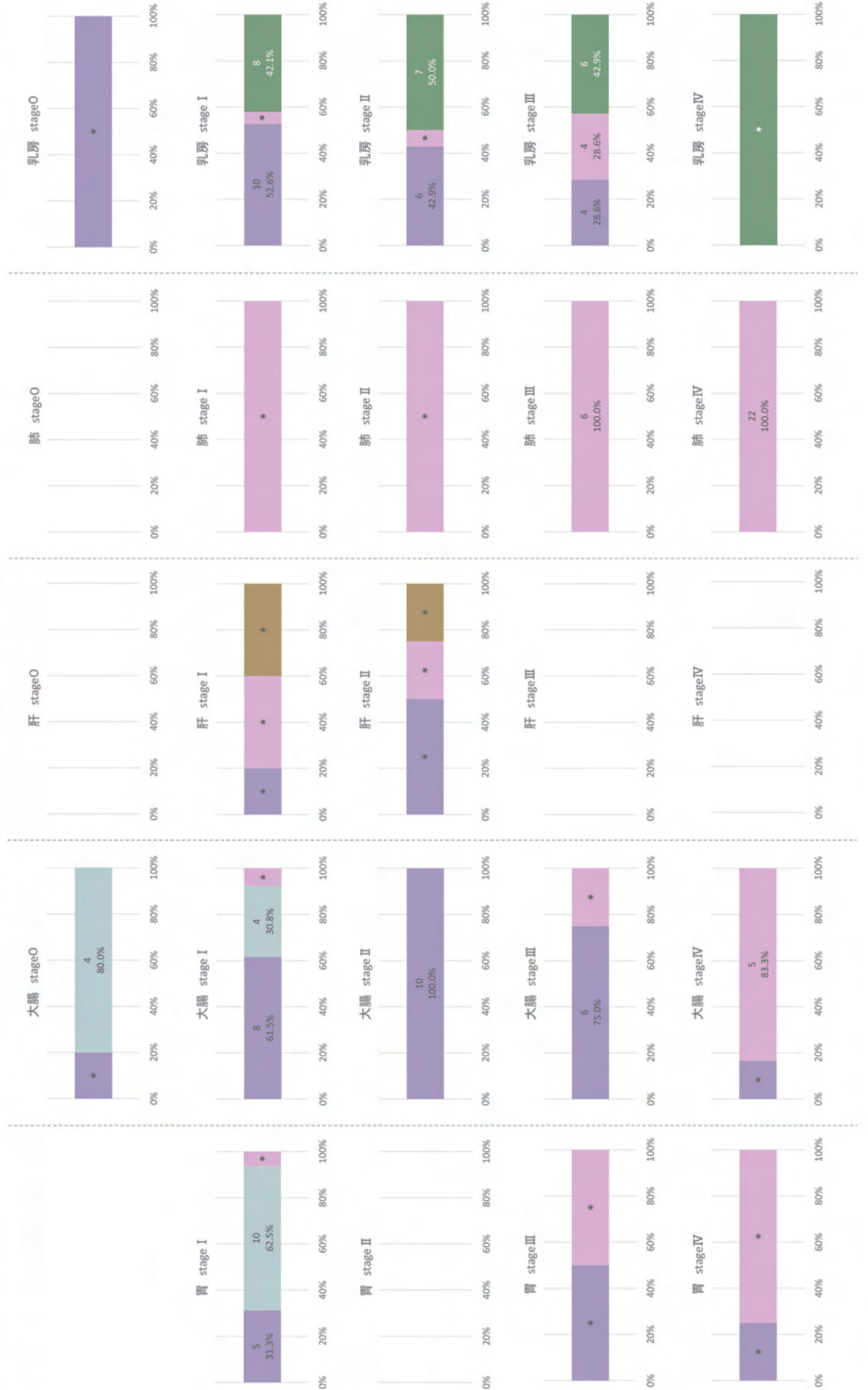
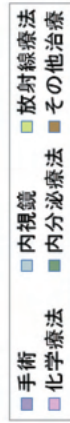
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

※ 分類はUICC8版に基づく

※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載

※ 手術とは外科的と顕視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター